

「在宅医療・介護連携に関する調査票」アンケート調査結果 ～地域包括支援センター 予防ケアマネジャー～

- ◆調査実施期間 平成30年11月1日～11月30日
- ◆調査対象施設 日進市内の地域包括支援センター(3施設)
- ◆介護予防ケアマネ数 20人(うち回答20人)

医療依存度の高い在宅患者(末期がん・胃瘻・膀胱瘻・腎瘻・人工肛門・在宅酸素・人工呼吸器・尿道カテーテル・褥瘡・経管栄養・腹膜透析 等)を担当したことがありますか？



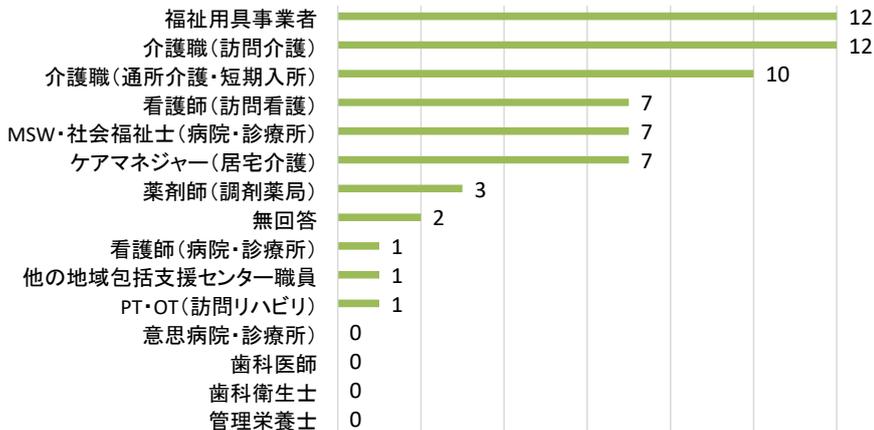
現在担当している利用者のうち、在宅医療(往診や訪問診療)を受けている方はいますか？また、何人ですか？



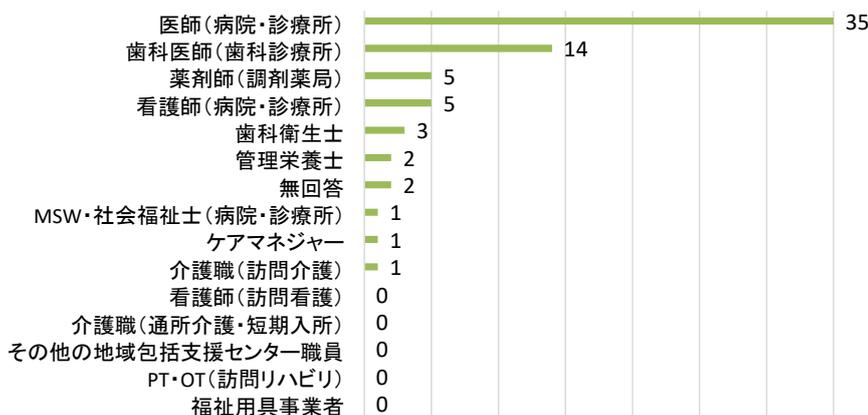
在宅で医療と介護を必要としている高齢者支援における在宅医療と介護の連携について現在、在宅医療と介護に関わる多職種との連携はうまく取れていると思いますか？



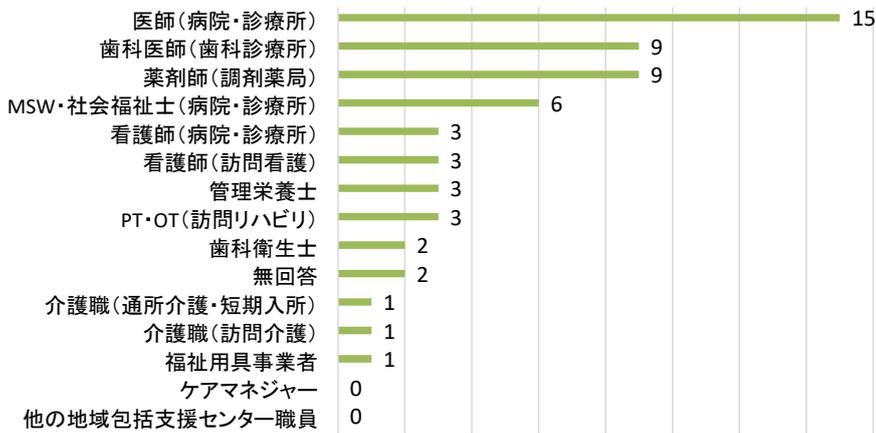
よく連携が取れていると感じている事業所、職種を挙げてください。(上位3つまで)



連携がとりにくく感じている事業所、職種を挙げてください。(上位3つまで)



今後、更に連携を強化していく必要があると思われる事業所、職種を挙げてください。（上位3つまで）



多職種間の連携がうまくいくには何が必要と思われますか？（上位3つまで）



多職種との連携において、もっとも有効と思われるツールを1つ選んでください。



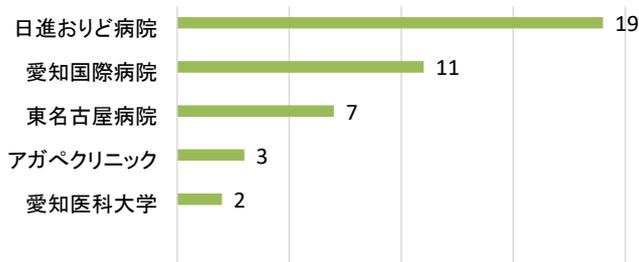
多職種との連携・連絡に普段活用している手段は何ですか？

第1位	電話
第2位	FAX
第3位	面談
第4位	メール
第5位	その他
0件	ヘルピーネット

医療機関や医療職との連携についてお尋ねします。

連携のある主な医療機関名を教えてください。

最も連携の機会が多いと回答した医療機関



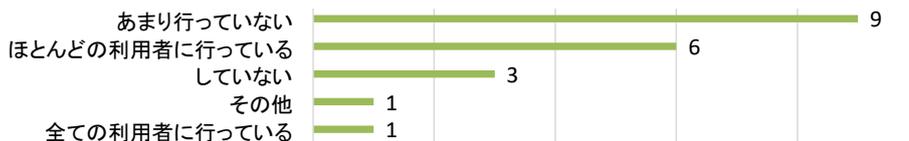
その他に連携があると複数回答のあった医療機関

- ・藤田医科大学
- ・名古屋記念病院
- ・長久手南クリニック

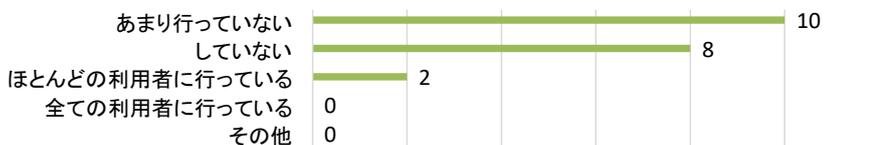
日常の療養生活について

(1) 主治医への連携はどの程度されていますか？

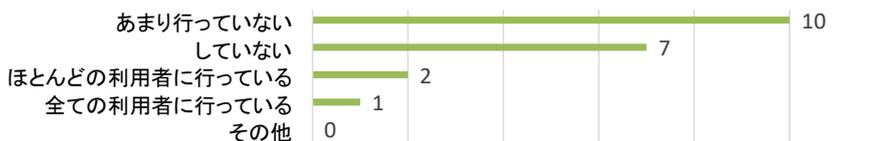
◆申請時の相談



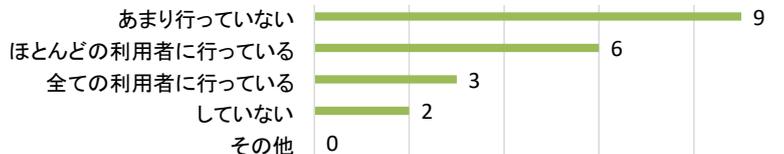
◆主治医意見書作成への情報提供



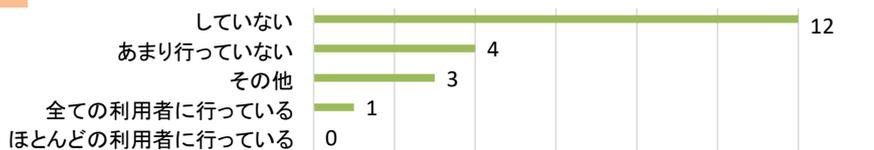
◆サービス担当者会議への出席依頼



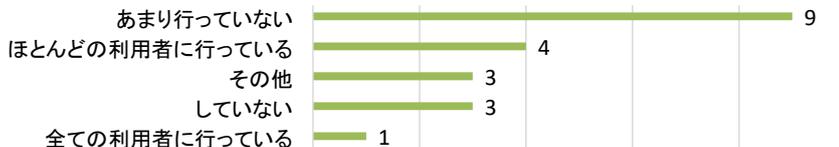
◆入退院時の連絡



◆通院時同席



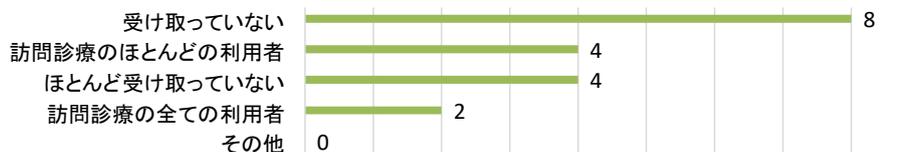
◆居宅サービス計画書を渡す



◆生活の様子、家族状況などの情報提供

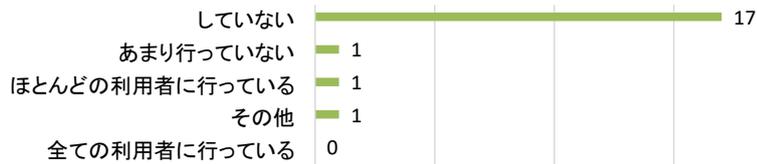


◆診療情報を受け取っているか

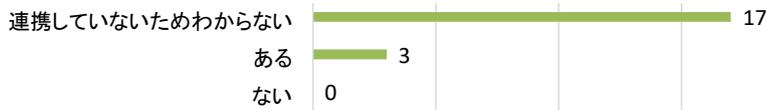


(3) 歯科医師（歯科診療所）との連携についてお尋ねします。

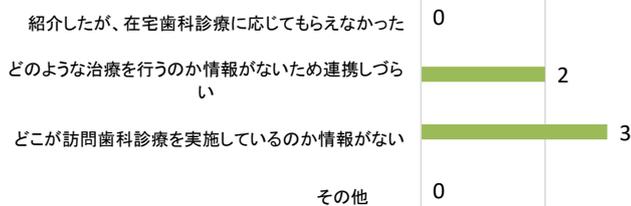
◆サービス担当者会議への出席依頼



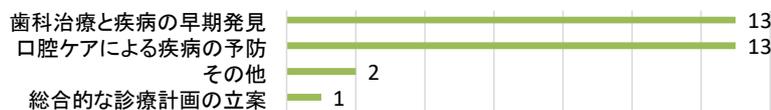
◆歯科医師との連携で困ることはありますか？



◆「ある」と答えた方は理由についてもお聞かせください。（複数回答）



◆歯科医師との連携で充実したい内容はありますか？



◆居宅療養管理指導を行っている歯科医師より診療情報を受け取っていますか？

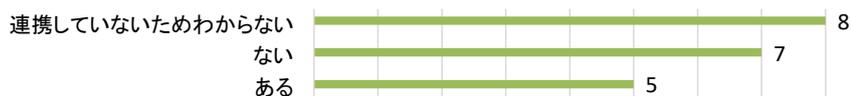


(4) 薬剤師（薬局）との連携についてお尋ねします。

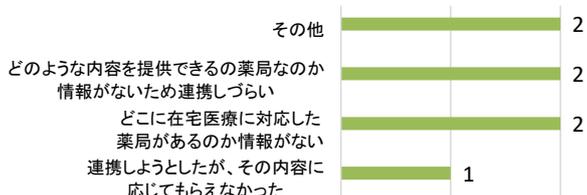
◆サービス担当者会議への出席依頼



◆薬剤師との連携で困ることはありますか？



◆「ある」と答えた方は理由についてもお聞かせください。（複数回答）



◆薬剤師との連携で充実したい内容はありますか？（複数回答可）

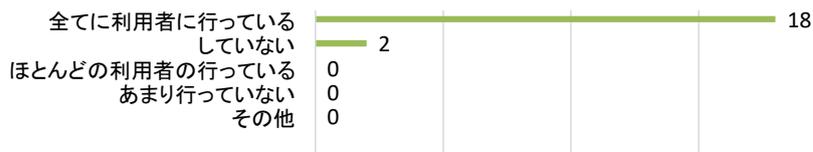


◆居宅療養管理指導を行っている薬剤師より薬に関する訪問情報を受け取っていますか？



（5）訪問看護ステーションとの連携（介護保険の部分）についてお尋ねします。

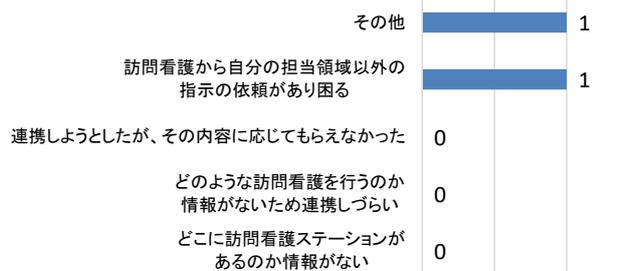
◆サービス担当者会議への出席依頼



◆訪問看護師との連携で困ることはありますか？



◆「ある」と答えた方は理由についてもお聞かせください。（複数回答）



◆訪問看護師との連携で充実したい内容はありますか？（複数回答可）



（6）居宅のケアマネジャーと（困難ケースやケースの引継ぎをするなど）の連携についてお尋ねします。

◆ケアマネジャーとの連携で困ることはありますか？

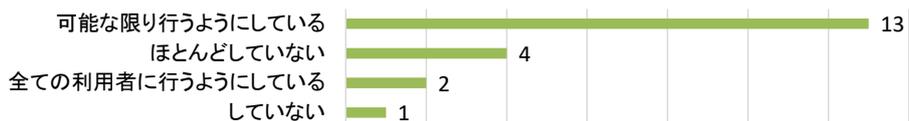


◆ケアマネジャーとの連携で充実したい内容はありますか？

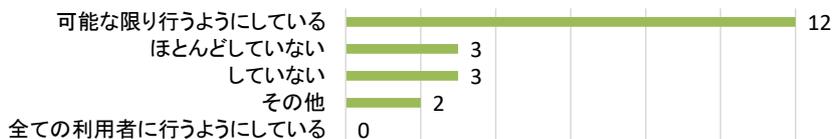
- ・虐待、徘徊ケースの早期相談
- ・支援→介護になった時に情報の提供をしていきたい。
- ・予防給付や事業対象者は改善できる可能性も大きいという点で介護保険を卒業するという方向性でのケアマネジメントを共通理解したいです。
- ・包括とケアマネとの役割分担（困難ケース等一緒に対応するときも）
- ・地域ケア会議の開催による地域との関わり

入退院時の入院施設との連携についてお尋ねします。

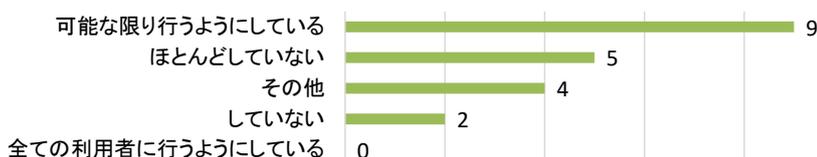
(1) 在宅情報を書面にて提供している



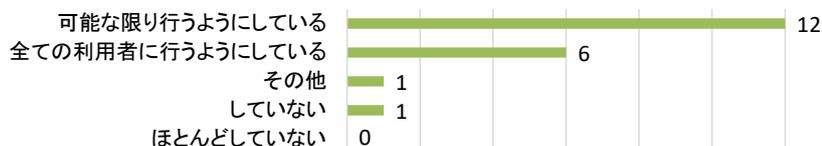
(2) 入院施設に面会に行き、経過情報を取得している



(3) 退院前カンファレンスを依頼している



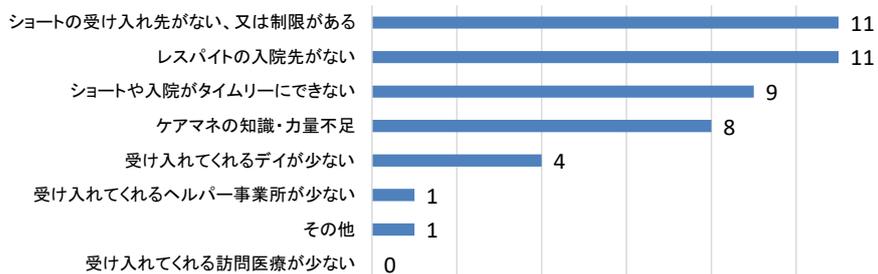
(4) 入院施設からカンファレンスの出席依頼があれば参加している



(5) 退院後の居宅サービス計画を渡している

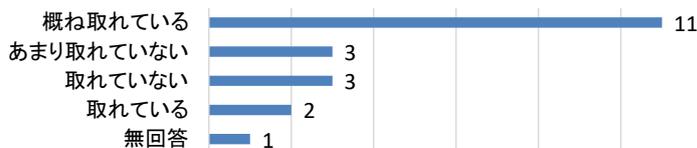


医療依存度の高い利用者あるいは難病等の利用者の在宅支援の課題は何だと思いますか？（複数回答可）

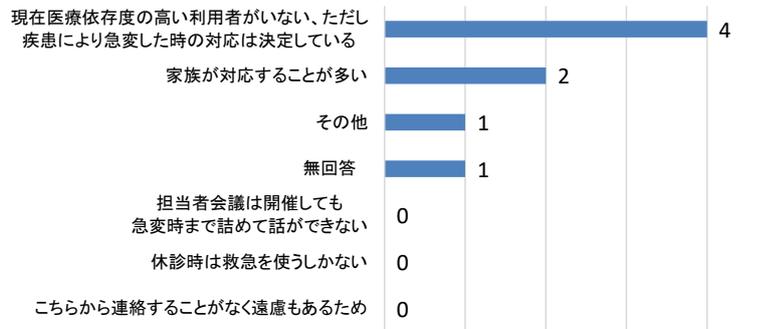


医療依存度の高い利用者が在宅で体調が急変した場合の対応について

(1) 主治医や訪問看護師等と情報共有し連携できる体制が取れていますか？



(2) 「あまり取れていない・取れていない」と答えた方へ、理由は何だと思いますか？（複数回答可）



在宅での看取りを希望する利用者に対する医療と介護の連携についてお尋ねします。

(1) 在宅での看取りに関わった経験はありますか？

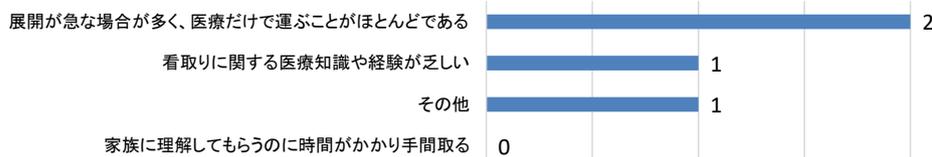


(2) 「ある」と答えた方へ

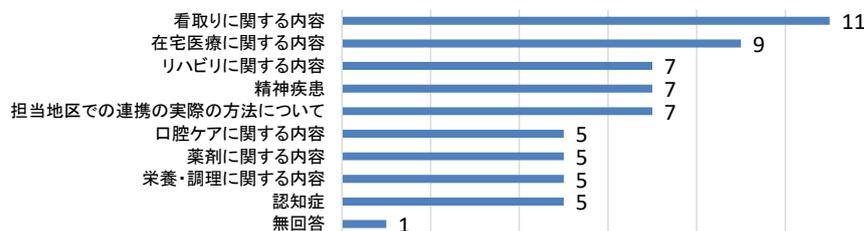
看取り場面において医療と介護の連携はうまく取れていますか？ひとつ選んでください。



(3) 「あまり思わない・思わない」と答えた方へ、理由は何だと思いますか？（複数回答可）



医療と介護が連携できるよう、今後ご自身が身に付けたい知識や受講したい研修等について教えてください。（複数回答可）



最期に本アンケートへのご意見。在宅医療との連携に対するご意見などお聞きください。

- 医療との連携（特に医師）は難しく感じる人が多いのでスムーズに連携できるようになるようにアンケートを活用して改善してほしいです。
- 在宅医療との連携をこれから密に行っていきたいと考えています。全ての関係事業所が前向きに取り組んでいくと思います。
- このアンケートをまとめるのは大変だと思います。在宅医療となるとかまえてしまいがちですが、身近な例を居家で発表を地域ケア会議とは別に必須にしていけばと思います。特にCMの年1回の仕事としてどうかな…。
- 大変とは思いますが、ある市町の支援センターは、ご家族からの医療機関紹介などの問い合わせに対し、直接対応しているところもあります。家族にとっては連絡先が多いほど利益になることもあり、家族、本人にとって何が有効か検討していただきたいと思います。
- 要支援の方を相手に業務をしているので、医療関係者とのかわりは少なく、上手にアンケートに答える事ができませんでした。介護と医療はかわりあう事によって、利用者さんが在宅生活を専門的な意見を具体的に助言していただけると思うので、多職種の方と密に連携を取っていった方が良いと思います。
- これから関係機関がお互いに連携の必要性、連携方法を学び利用者や家族の利益になるといいと思います。また毎回顔を合わせなくてもICTを活用することで仕事の効率がアップできればと思います。